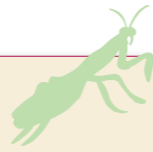


## SCHOOL DATA

〒261-0011 千葉県美浜区真砂 4-5-1  
 TEL.043-278-2572 FAX.043-278-4993  
 ■児童数 / 176人 ■教職員数 / 16人 ■周辺環境 / 住宅地



平成 22 年  
5 月 1 日現在



休み時間は児童の憩いの場



ビオトープ全景

## ビオトープの概要

- 場所 / 学校敷地内
- 面積 / 383㎡
- 設置者 / 真砂第三小学校ビオトープ推進実行委員会
- 設置した年 / 2005年
- 主な管理者 / 真砂第三小学校ビオトープ推進実行委員会

### 【生息している動物】

メダカ、ドジョウ、ミズスマシ、アメンボ、アカアカネ、コオロギ、テントウムシ

### 【生育している植物】

ガマ、ススキ、ヨシ、ハス、エノコログサ、オナモミ、イヌタデ、セイタカアワダチソウ、オヒシバ、コゴメガヤツリ、ササ

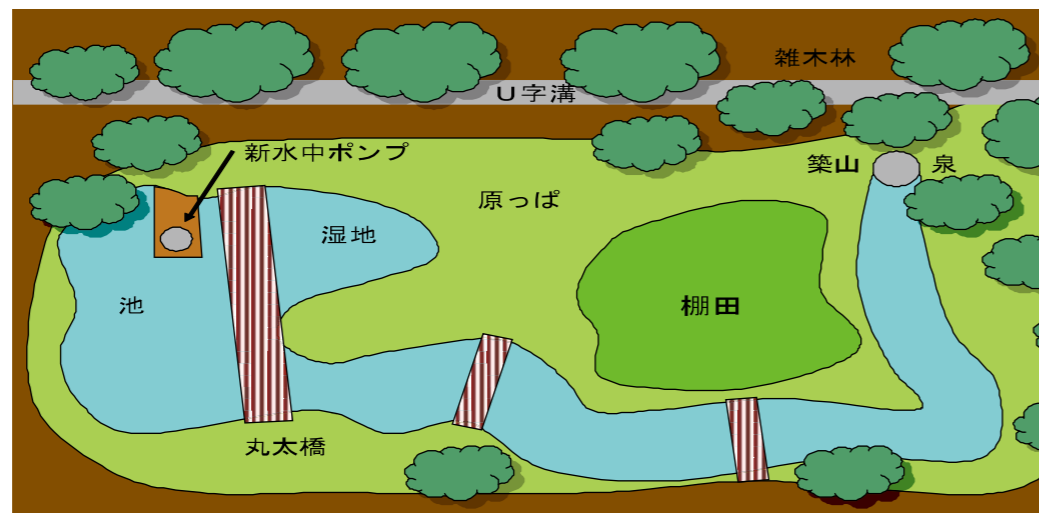
### 【今後生息・生育させたい生物】

ギンヤンマ等のトンボ類、ホタル、大賀ハス、セリ、コウホネ  
 外来種は入れないようにする。

### <コンセプト>

本校は、東京湾に面した埋め立て地に設立された学校である。京葉線検見川浜駅からほど近い住宅地にあるものの、創立から37周年を迎え、学校のシンボルツリーであるクスノキをはじめ、ビワやヒメリンゴ等、実のなる樹木も大きく成長している。また、花見川に近く、オナガ・ヒヨドリ・ハクセキレイ等の鳥類も多く見られるなど、人工的ではあるが、児童が観察するための自然環境は徐々に整ってきていると言えるだろう。そして、ビオトープは、水辺の野生生物が棲みやすい環境を人工的に作り、そこに野生生物を呼び寄せて子どもたちが豊かな自然にふれあう機会を創出することを目的として校庭の一角に整備され、5年を経過している。古電柱を再利用した橋のあるビオトープは、児童のお気に入りの場所であり、格好の遊び場でもある。ビオトープの一部に田植えをして稲を収穫するなど授業で活用するとともに、休み時間には葉笛や笹船などを作ったり、鬼ごっこに興じたりと思い思いに過ごしている。

来年度は近隣の真砂第二小学校との統合を控えている。今後さらに計画的に手入れと活用をすることによって、動植物を愛する優しい子が育つとともに、新しい学校でもビオトープを大切に、愛校心が育つことを期待している。



児童による生きもの探しのようす



田植えのようす

## ビオトープの活用方法

### ■児童

- ・生活科や総合的な学習の時間の授業に生きた教材として環境学習を実施する。
- ・環境学習アドバイザーを招聘して、観察会を開催する。
- ・稲の田植えや刈り取りを体験するとともに、成長を観察する。

## ビオトープの効果

### ■児童への効果

- ・水循環させた川でさまざまな種類の生物を観察することにより、自然の仕組みや湿地の環境、地球温暖化の防止などについての理解を深める。
- ・生物に触れることにより、心豊かで優しい子を育成する。
- ・水の管理や病虫害の予防など、米づくりの大変さを体験するとともに、収穫の喜びや自然環境を大切にすることを育てる。
- ・ビオトープを学校の誇りとし、大切にすることを育てる。

### ■教職員への効果

- ・観察できる自然教材が近くにあることで、計画的に児童に実物を観察させたり触れさせたりすることができる。

### ■保護者・地域住民への効果

- ・近隣の幼稚園や保育所の子どもたち、地域の方々を対象とした観察会の機会を設け、自然に触れる機会を提供する。

### ■その他、期待される効果

- ・自然環境の保持・憩いの場としての役割を担う。

## 保護者・地域との連携

### ■保護者・地域住民・NPO

- ・ビオトープの維持・管理や観察会等の活動を地域の方々と連携して行うことにより、学校教育への理解と協力を促進する。



新たに掘った井戸のポンプ



水中ポンプの移設工事



新たな水中ポンプ

## 整備・活用・管理等の課題

- 以下の活動を計画しているが、人的な支援、計画的な管理が課題である。
- ・整美委員会を中心に児童会活動の一環として日常の維持・管理を行う。
  - ・年間3回程度、ビオトープの清掃の日を設ける。
  - ・技能員が必要に応じて草刈り、草取りを行う。

## 今後の展望

今年度の改修により、井戸を掘り、水源の確保を行うことができた。また、古くなったポンプ等の機器類の交換を行いながら、機器のメンテナンスを行いやすいように設置場所を変更することができた。これらによって水質保全に努めるとともに、学校ビオトープ交流会を開催し、近隣の学校との交流学習を実施していきたい。

暑かった今年の夏は米の成長も十分だった。井戸によって水の管理も容易になり、水不足の心配もなくなったことに感謝している。

## 整備担当者（教員、児童、保護者等）から

これまででは水中ポンプによって、少し離れたところにあるプールから水を入れていた。また、枯れた植物が水中に堆積することで、水質の悪化が見られていた。井戸掘り・ポンプの整備とともに、水底の浚渫（しゅんせつ）を行うことで、水質の改善が図られ、観察も容易となった。これにより、さらに生息する生物の種類を増えることを願っている。

ビオトープにはこれまでに関わってきた多くの教職員・児童・保護者・地域の方々の思いが詰まっている。今後とも大切に管理していきたい。